

晩秋の日野路を快走

第20回中国マスターズ駅伝大会・第19回鳥取マスターズ駅伝大会



納得の走りに笑顔



「後は任した」次走者にタスキをつなぐ

26チームが参加

13年ぶりに日野町で

男子35歳以上、女子30歳以上の選手が健脚を競い合う第20回中国マスターズ駅伝大会・第19回鳥取マスターズ駅伝大会が、11月16日、町内のマラソンコース（スタート・ゴールリバーサイドひの、日本陸連公認奥日野マラソンコースと一部町道を使用）で開かれました。

13年ぶりに日野町で開かれた中国マスターズ駅伝大会には、中国5県から16チーム。鳥取マスターズ駅伝大会には10チームが参加。男子の部、女子の部、還暦の部の3部門

に、合わせて26チーム約140人の選手が参加しました。

男子の部は、小河内地区で折り返し、野田地区を経由する5区間の21^キ。女子の部、還暦の部は、町公民館で折り返し、野田地区を経由する5区間の16^キ。選手は晩秋の日野路で健脚を競い合いました。

地元日野町から

4人が出場し力走

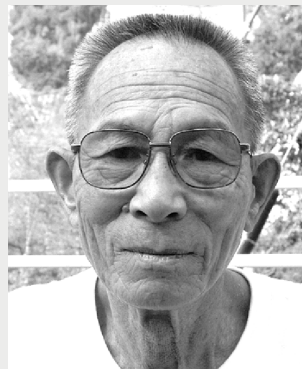
地元からは、鳥取マスターズ駅伝大会男子の部に柴田税さん（根雨）、小林博文さん（本郷）、埴田君義さん（中菅）、還暦の部に宇田春男さん（黒坂）の4人が出場。沿

中国マスターズ駅伝女子
高畑智美さん（岡山県）
川の流れる音が聞こえ気持ち良く走れました。日野町は自然豊かで、素晴らしいです。機会があればこのまちで開かれるマラソン大会に出場したいです。



鳥取マスターズ駅伝男子 還暦の部に参加

宇田春男さん（黒坂）
地元大会で満足できる走りことができました。大会を通じて交流も深まっています。これからも走り続けたいです。マスターズは私の生きがいです。



道の熱い声援を受けながら力強く走りました。

中国マスターズ駅伝大会男子の部は、鳥取マスターズが1時間13分44秒、女子は島根レディースが1時間10分47秒、還暦の部は広島マスターズA



力強く走り抜ける